



さっぽろアートステージ 2022

http://www.s-artstage.com/

君もアーティストになろう！
子どもたちのアート体験！！



オンラインワークショップ、
対面ワークショップ、絵ハガキ郵送

参加者大募集！

展示会場 / 札幌市民交流プラザ

1F SCARTSモール、SCARTSコート
札幌市中央区北1条西1丁目

展示期間 / 11月7日(月) ~ 23日(水)

10:00~19:00(最終日17:00まで) ※11月9日休館

キッズアートフェスでは、5組のアーティストと一緒に、ワークショップなどを通して作品をつくり、札幌市民交流プラザに展示します。多くの子どもたちの参加をお待ちしています！

誰でも
参加できます

祭太郎と一緒に
大きなオブジェを作ろう！



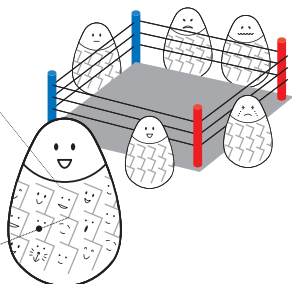
うさ耳に前掛け姿！札幌の名物アーティスト祭太郎が作るプロレスリングとその周りを囲む大きな5体の人型オブジェが登場します！人型オブジェにはまだ表情がありません。そこで、子ども達に嬉しい笑った顔、怖がる顔、怒った顔、泣いた顔、考える顔を自由な発想でハガキに描いていただき、それを人型オブジェに貼り付けて表情をつけてあげましょう！人の顔だけでなく、動物、植物、昆虫、家電、他、様々なものの表情でもOKです！

作り方

応募方法は
裏面をご覧ください。

点線の中にかいてね！

名前もかこう！



アーティスト 祭太郎

1998年公共の路上で突然一人で受け身をとる身体パフォーマンスを始める。背中の痛みをこらえて早24年！石狩で開催されるRISING SUN ROCK FESTIVAL in EZOで名前も全国区となり、気が付けばNHKにも紹介される名物男。うさ耳とツイストスタイルのコスチュームで繰り広げられるロ上パフォーマンスは老若男女問わず人気がある。実は美術家としても活躍しており、北海道立近代美術館、上海で行われた日中の現代美術交流展、横浜トリエンナーレ特別連携プログラムなどにも出品している。

キリトリ線



←どの表情を書いたかチェック☑をいれてね！

(たてがきよう)おなまえ

①自分の顔を3D彫刻にしてみよう!

子ども達の顔を3Dスキャナーでスキャンして、オリジナルの顔の彫刻を作ります。子ども達は日々成長し、顔もどんどん大人へと変化してゆきます。そんな子ども達の今現在を写真という平面ではなく、ユニークな立体写真として残します。今はコロナ禍でみんながマスクをしていることで、実際の顔と向き合う場面が少ない今、「顔」について考えてみませんか?



少数対面によるワークショップ

日程/11月5日(土)、6日(日)
参加:1回に2名/1日5回(所要時間:1回50分)
参加定員:1日10名 対象:小学生(保護者同伴)
受付:事前募集(フォーム) ※先着順受付



講師 佐藤壮馬(アーティスト)

開催時間とお申込はこちら→

2011年からロンドン大学 UCL 人文科学、建築学部建築学科に在籍。その後2014-2020年にはScanLAB Projects(ロンドン)に参加し、3Dスキャンなどを中心としたメディアアートをロンドンで発表。2020年に帰国し第23回文化庁メディア芸術祭アート部門 審査委員会推薦作品に選ばれるなど、メディアアートを中心に活動する。

②見えない風の絵を描き、それを映像にしてみよう!

目には見えない風を子ども達の自由な発想でイメージして絵を描いてもらいます。その絵と実際に吹く札幌市内の風の音をシンクロさせて、石田先生が制作する映像プログラムにインプットし映像作品にします。また実際に子どもたちが描いた絵は会場内に展示する予定です。



オンラインと対面によるワークショップ

日程/オンライン:10月29日(土)
対面:11月5日(土)
いずれも13時半より(所要時間:1時間程度)
参加定員:1日10名 対象:小学生(保護者同伴)
受付:事前募集(フォーム) ※先着順受付



講師 石田勝也(アーティスト)

開催時間とお申込はこちら→

1970年愛知生まれ。室蘭工業大学建設システム工学科修了。環境情報と音響映像コンテンツを使用した創造的空間の構築が研究テーマ。さまざまなメディアを使用し、イベントでの映像演出、街づくりの企画などのコンテンツ制作やディレクターとして様々なプロジェクトに携わる。2014年に作品「Heart☆Full」をBains numeriques(フランス)にて発表。札幌国際芸術祭2014にてテクニカルスタッフとして参加後、現在SIAFラボメンバーの一人として活動を継続。現在、札幌市立大学デザイン学部人間空間デザインコース講師。

応募作品スペース

×キリトリ線



→どの表情を書いたかを「チェック」のをいれてね!

(よこがきよう)おなまえ

ワークショップ参加者募集!!

11月7日(月)〜23日(水)の期間展示されます。

③暖かい炎をイメージしたアニメーションを作ろう!



小さなパーツを、揺らいだり上に向かう炎に見えるように組み立てつつ、それをコマドリ連続撮影してアニメーションを作ります。さらに子どもたちの火の音を表現した声を効果音としてアニメーションに加えます!

少数対面によるワークショップ

日程/11月5日(土)、6日(日) 1日3回に分けて実施
参加:1回に3名/1日10名(所要時間:1時間程度)
参加定員:1日10名 対象:小学3年生以上の小学生(保護者同伴)
持参用具:デジタルカメラ、スマートフォンなど
受付:事前募集(フォーム)



開催時間とお申込はこちら→

講師 row&row(アーティストユニット/Boat ZHANG+小林耕二郎)

2018年「Bubble Night / Fine Art」(dePot, 上海) 2020年「Drawing Law in the Anthropocene」(Université de Lyon, リオン)「天世界」(上海当代芸術博物館 PSA, 上海)「北海道151年のグンダーカンマー」(北海道立近代美術館、札幌)2021年「対馬アートファンタジア2020-21」(対馬アートセンター、対馬2021)「Talk To」(梔原美術館、上海2021)などに出版。メンバーの張小船Boat ZHANGと小林耕二郎はそれぞれインディペンデントアーティストとしても活動している。

④カラフルな雪をふらせよう! はじめてのデジタルアートワークショップ



事前に配信する動画では、ブロックをつなげるプログラミング言語(cables.gl)をつかって、カラフルな雪をふらせるデジタルアートの開発に取り組みます。プログラミングの学習経験がなくてもそれぞれのペースで取り組めるよう動画の中で解説を行います。リアルタイムで行うオンラインのワークショップでは音に反応するデジタルアートに挑戦します。

オンラインによるワークショップ

日程/10月15日(土) 13時〜17時の間で1時間程度(後日個別に連絡)

対象者/小学5年生以上と保護者の方、中学生 定員/20名
諸条件/動画&ZOOMで開催。
動画のみの参加も可。プログラミング初心者向け

開催時間とお申込はこちら→



講師 吉岡純希(看護師/メディアアーティスト)

1989年札幌生まれ。集中治療室や在宅での看護師の経験をもとにテクノロジーの医療現場への応用を目指す。病院でのデジタルアートのプロジェクトである「Digital Hospital Art」の実践、看護と3Dプリントの研究「FabNurse Project」へ参加。研究成果を社会へ実装するため、「株式会社NODE MEDICAL」を設立。

各ワークショップ申込方法

各ワークショップのQRコードからお申し込みください。

応募:先着順受付

受付開始:9月21日(水)12時(正午)〜

※お申込み時間前に送信されたものは無効となりますのでお気をつけください。

定員を超えていてもフォームに入力は可能ですので、参加の可否については事務局からのメールでご確認ください。定員を超えてのお申込みはキャンセル待ち扱いとさせていただきます。お問い合わせ:さっぽろアートステージ実行委員会事務局 (011)281-7117 平日10:00〜17:00

祭太郎と一緒に大きなオブジェを作ろう!

応募方法

左の空欄に好きな表情などを描いて切りとり、封筒に入れて切手を貼り、郵送してください。



応募締切 2022年10月25日(火)必着



完成した作品は札幌市民交流プラザ1階のスカーツモールA・Bで11月7日(月)〜23日(水)の期間展示されます。

作品の送り先:〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階 SCARTS内 さっぽろアートステージ 係



さっぽろアートステージ YouTubeチャンネルで祭太郎の絵ハガキ募集の動画を配信中!

絵ハガキについて、どんな顔を描くのか?などを祭太郎がわかりやすく解説しています。ぜひ、ご覧ください。

https://www.youtube.com/channel/UckIRim6TLO4mH0Fbehr6Cug

肖像権/提出作品の取り扱いについて
作品及び各ワークショップ参加の様子は、札幌市民交流プラザにて展示上映するとともに、記録広報資料としてさっぽろアートステージ実行委員会事務局及び札幌市に保管します。ご了承のうえ、お申し込みください。